

最優秀賞

秋蝶は床伏す君の日記の上

群馬県立太田高等学校 二年

荒井 洋太

優秀賞

土砂降りの中真顔なる雨蛙

青森県立七戸高等学校 二年

田嶋 堅

夏暁の翠玉の海輝けり

埼玉・開智高等学校 二年

谷野 陽輝

佳作

だるまさんが転んだをする我と蛇

宮崎県立宮崎西高等学校 三年

南條 理沙

炎帝やみみずひれ伏すアスファルト

茨城県立水戸第二高等学校 一年

河原井 愛美

新緑や歩幅の違ふ父を追ふ

青森県立七戸高等学校 三年

中野渡 瑞希

草笛の得意な君のふた心

茨城県立結城第二高等学校 四年

木村 詩音

蹴り出したボール地を這う炎暑かな

福岡・西日本短期大学附属高等学校 一年

小波 蒼一朗

入選

色あせし絵本の赤や小夜時雨
茨城県立下館第一高等学校 二年
林 里美

グローブの隙間に見える入道雲
埼玉県立浦和第一女子高等学校 一年
長沢 叶生

亡き祖父に夢を語りて盆の夜
埼玉県立浦和第一女子高等学校 一年
太田 慧南

紫陽花や画鋏ちらばる美術室
愛知県立幸田高等学校 二年
原 悠菜

曇天の工事現場の聖夜かな
青森県立七戸高等学校 一年
川村 海斗

草笛や妙なあだ名を付けられて
愛知・名古屋高等学校 二年
小林 空

髪洗ふ降る死の灰を落とさうと
福島県立会津高等学校 三年
白井 駿助

蛙啼く生きる意味など知りません
茨城県立結城第二高等学校 三年
大橋 碧

八月のノートに残る走り書き
福岡・西日本短期大学附属高等学校 一年
竹下 桃香

白蟻の羽がたくさん落ちる駅
長崎県立大村高等学校 二年
松田 れんげ

俳句の部選評

俳人

堀本 裕樹

第二十二回全国高校生創作コンテストに応募してくださった皆さん、ありがとうございます。今回で二回目の俳句部門の選者を担当させていただきますが、高校生らしい句もあれば、なかなか老成した句もありました。

では、入選を果たした句を観ていきます。

秋蝶は床伏す君の日記の上

最優秀賞の荒井洋太さんの作品。季語は「秋蝶」で秋。「床伏す君」とは病気のために伏せている大切な人のことなのでしょう。そんな君は日記を病室で付けているのです。そこに窓から入ってきた秋の蝶が止まったのです。「蝶」とだけいうと春の季語ですが、秋蝶は夏を経ただいぶ弱っています。翅も痛んでいるかもしれません。そんな秋蝶と病気で伏せている君とが優しく響き合っています。

実はこの句を最優秀にするか、ずいぶん悩みました。この句には少しフィクションの匂いがありましたからです。情景としてどこか出来すぎています。それは今まで数え切れないくらい句を観てきた私の勘でした。しかし、悩んだ結果フイ

クシオンでもいいかと思いましたが。創作は程度の差こそあれ、フィクションが混じるものです。だから思い切つてこの句を最優秀に推したので。私の俳句観でいえば、やはり実感を伴った句を推奨したいと思っています。この句の作者もフィクション性について自分なりに考えてくれると嬉しいのです。

土砂降りの中真顔なる雨蛙

優秀賞の田嶋堅さんの作品。季語は「雨蛙」で夏。土砂降りの雨の中、雨蛙がじっと座っています。その顔つきを見ると、どこか一点を見つめているような真顔。まじめな表情でただ雨に打たれているのです。雨蛙は何を思っているのでしょうか。まるで人間のように見えてしまう雨蛙の哲学的な表情と野生に生きる逞しさと哀れな佇まいが見えてきます。

夏暁の翠玉の海輝けり

優秀賞の谷野陽輝さんの作品。季語は「夏暁」で夏。応募句は比較的写生の句が少ない傾向にあるのですが、この句はきつちり夏の夜明けの海を描いています。「翠玉」とはエメラルドのことですが、柔らかくうねっている海面を捉えて硬い翠玉と表現したところに作者独自の感性が光っています。同時に海の色味も翠玉の透명한緑で表しているのでしょう。シンプルに夏の夜明けの海の輝きだけを捉えたこの句の美しさに惹かれました。

佳作の木村さんの句は、「君のふた心」に恋の物語を感じました。心憎い君の草笛です。小波さんの句は、蹴ったサッカーのボールが生き物のように地を這つていくスピード感がこちらに伝わってきました。河原井さんの句は、「炎帝」と「みみず」の季重なりをうまく活かしました。みみずのひれ伏す様子が眼に浮かびます。中野渡さんの句は、尊敬している父を追う姿で親子の関係を描きました。新緑が作者の初々しい志のようです。南條さんの句は、蛇と「だるまさ」が転んだ」をするという着想が幻想的で独特の世界観でした。

● 堀本 裕樹(ほりもと・ゆうき)

俳人。一九七四年和歌山県生まれ。「いるか句会」「たんぼ句会」主宰。國學院大學卒。第2回北斗賞、第36回俳人協会新人賞受賞。東京経済大学、二松學舎大学非常勤講師。著書に句集『熊野曼陀羅』(文學の森)、『富士百句で俳句入門』(ちくまプリマー新書)、芸人・又吉直樹との共著『芸人と俳人』(集英社)、漫画家・ねこまぎとの共著『ねこのほそみち春夏秋冬にやー』(さくら舎)、『俳句の図書室』(角川文庫)、シヨートシヨート作家・田丸雅智との共著『俳句でつくる小説工房』(双葉社) などがある。